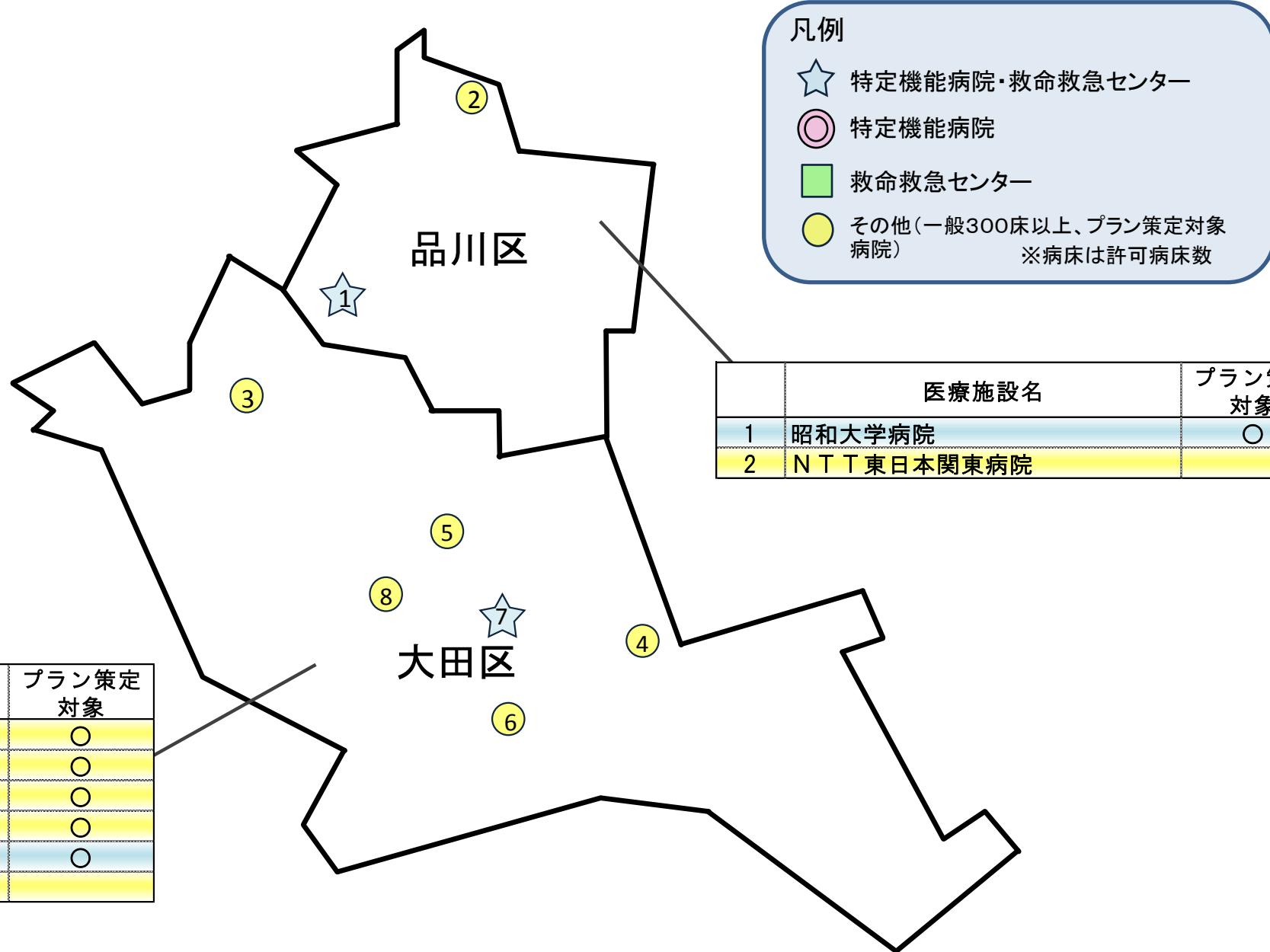


主な医療機関
区南部



	医療施設名	プラン策定対象
1	昭和大学病院	○
2	NTT東日本関東病院	

	医療施設名	プラン策定対象
3	荏原病院	○
4	東京労災病院	○
5	大森赤十字病院	○
6	東京蒲田医療センター	○
7	東邦大学医療センター大森病院	○
8	池上総合病院	

<2025年の医療需要>

機能 (医療資源投入量)	高度急性期機能 (3,000点~)	急性期機能 (600~3,000点)	回復期機能 (175~600点+回リハ)	慢性期機能 (~175点)
患者数	1,012(人/日)	2,780(人/日)	2,457(人/日)	853(人/日)
病床数の必要量	1,349(床)	3,564(床)	2,730(床)	927(床)

<平成28年度病床機能報告>

機能 (自己申告)	高度急性期機能	急性期機能	回復期機能	慢性期機能
病床数	2,065(床)	4,006(床)	729(床)	1,352(床)
病床稼働率	85.0(%)	78.5(%)	83.2(%)	89.1(%)
平均在院日数	8.8(日)	11.0(日)	58.8(日)	258.8(日)

<平成29年度までの調整会議における議論の到達点>

地域の特徴

- 退院調整部門を置いている割合が低い
- 慢性期機能の病床稼働率が低い
- 在宅医との連携に課題を感じる病院の声

課題

- 急変時の受入れなど病院と在宅医との連携強化の取組が必要
- 顔の見える関係を構築し、圏域内の医療機関の情報共有を進める取組が必要

解決に向けたキーワード

- 後方支援体制
- 顔の見える関係づくり

<地域医療構想推進事業>

地域医療構想推進事業を活用して整備された病床(カッコ内は補助対象病床)

	病院名	所在
1	大森山王病院	大田区
	地域包括ケア病床（5床）	

<プラン策定対象病院>

		病院名	所在区市	特定機能病院	地域医療支援病院	指定状況										平成28年度病床機能報告における病床数					将来的に目標とする病床数						
						救命救急センター	こども救命	指定二次救急医療機関	小児救急医療機関	災害拠点病院	CCU医療機関	脳卒中	t-PA	がん	小児がん	周産期センター	周産期連携病院	高度急性期機能	急性期機能	回復期機能	慢性期機能	休棟等	高度急性期機能	急性期機能	回復期機能	慢性期機能	休棟等
16	区南部	1 昭和大学病院	品川区	●		●		●	●	●	●	●	●	●			815					815					
17		2 公益財団法人東京都保健医療公社荏原病院	大田区		●			●	●	●		●	●				12	416	48			12	416	48			
18		3 独立行政法人労働者健康安全機構東京労災病院	大田区		●				●		●	●					6	394				6	342	52			
19		4 日本赤十字社東京都支部大森赤十字病院	大田区		●				●	●	●	●					18	326				18	326				
20		5 東京蒲田医療センター	大田区						●		●	●							230					176	49		
21		6 東邦大学医療センター大森病院	大田区		●		●		●	●	●	●	●	●	●			912					702	140			

※CCU医療機関:東京都CCUネットワーク加盟施設 / 脳卒中:東京都脳卒中急性期医療機関 / t-PA: t-PA対応可能施設 / がん:都道府県がん診療連携拠点病院、地域がん診療連携拠点病院、地域がん診療病院、東京都がん診療連携拠点病院 / 小児がん:小児がん拠点病院、東京都小児がん拠点病院 / 周産期センター:東京都総合周産期母子医療センター、東京都地域周産期母子医療センター / 周産期連携病院:周産期母子医療センターと連携の下、ミドルリスクの妊産婦に対応する病院
 ※将来的に目標とする病床数は、「公的医療機関等2025プラン」に記載された2025年度の機能別病床数を指す。ただし、公立病院及び公社病院については、「平成29年度病床機能報告」で6年後の病床数として報告された数字としている。